

事前評価調書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	主要地方道名古屋岡崎線 <small>なごやおかざき</small>				
事業箇所	愛知県豊田市中田町 <small>なかだ</small> ～ 豊田市吉原町 <small>よしわら</small>				
事業の あらまし	<p>主要地方道名古屋岡崎線は、名古屋市と岡崎市を結ぶと共に、新東名高速道路や名古屋環状2号線などにアクセスする重要な幹線道路である。さらに、第二次緊急輸送道路として位置づけられており、防災上重要な路線でもある。</p> <p>しかしながら、本事業区間及び周辺道路では、慢性的に渋滞が発生しており、地域の課題となっている。</p> <p>このことから、建設部方針2020の11の取組方針の内「国際競争力を強化する基盤整備」、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「地震・津波対策の強化」に対して、伊勢湾岸自動車道豊田南インターチェンジへのアクセス向上、地域の交通の円滑化と周辺の渋滞緩和、災害時の緊急輸送道路の確保を図るために、道路改良事業により、主要地方道名古屋岡崎線の現道拡幅を行うものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備 (2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 (3) 地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
事業費	事業費	内訳			
	9.7億円	■工事費9.0億円、■用補費0.0億円、■その他0.7億円			
事業期間	採択予定年度	2020年度	着工予定年度	2020年度	完成予定年度 2025年度
事業内容	現道拡幅（延長：L=4.4km、車線数：完成4車線、幅員W=30.0m）				
II 評価					
①事業の 必要性	1) 必要性	<p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備 本路線は、伊勢湾岸自動車道豊田南インターチェンジへのアクセス道路となることから、機能向上が必要である。</p> <p>(2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 本地域は、自動車産業等県内有数の工場が集積する地域であるため、自動車交通量が非常に多く、本地域周辺では渋滞が発生しており、地域間アクセスの低下などが生じている。このため、渋滞の緩和による地域間アクセス向上や物流効率化が必要である。</p> <p>(3) 地震・津波対策の強化 当該事業区間は、第二次緊急輸送道路に指定されており、災害時における救援物資供給等の迅速な活動を支援するため、機能向上が必要である。</p>			
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 本地域の渋滞緩和や交通結節点へのアクセス性向上、防災機能の向上のため、事業実施の必要がある。</p>		

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】								
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	
	工 種 区 分	調査・設計	←→							/
		用地補償								
工事		←→								
	事業費（億円）		9.0				0.7	9.7		
	2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備の要望を受けており、合意形成は図られている。 ・用地は全て取得済みである。 								
	判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。							
		【理由】 ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。								
Ⅲ 対応方針（案）										
	事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。								
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容										
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 4車線拡幅による交通の円滑化状況。										